

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 21LADY株式会社 上場取引所名
 コード番号 3346 URL <http://www.21lady.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 道子
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)北川 善裕 TEL 03(3556)2121
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,410	△11.0	△69	—	△70	—	△75	—
23年3月期第2四半期	1,583	—	△135	—	△147	—	△191	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △85百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △215百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1,910 74	—
23年3月期第2四半期	△4,797 17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,105	169	13.0
23年3月期	1,239	262	18.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 143百万円 23年3月期 223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
23年3月期	—	0 00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	4.5	24	—	14	—	0	—	0 00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 ()、除外 — 社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期2Q	43,947株	23年3月期	43,947株
24年3月期2Q	4,685株	23年3月期	4,685株
24年3月期2Q	39,262株	23年3月期2Q	40,015株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向けて動き出し、企業の設備投資や個人の消費行動に改善の兆しが見られたものの、欧州の金融不安や米国の景気後退懸念を背景とした円高・株安の進行により、今後の本格回復には依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループにおきましては、既存子会社における商品開発や人材育成など、グループの成長戦略に注力いたしました。

セグメント別には、次のとおりであります。

ヒロタ事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、イタリアのブランドと共にこだわりの味とパッケージを追求したシューアイスや、デンマーク産のチーズを贅沢に使用したレアチーズのスイーツの開発など、「コラボレーションの強化」に努めました。また、ディスカバージャパンの取組みの一環として、徳之島の特産素材を使った受託商品を開発し、産地のお土産商品としてご好評をいただいております。ホールセール部門におきましては、営業力及び新商品販売強化により、関西のホールセール部門で前年対比120%を超える売上を上げる事ができました。同時にネット販売の強化にも注力し、夏季のシューアイス売上に貢献いたしました。直営店舗におきましては、組織のフラット化を進めましたが、震災後の客数の減少等の影響などもあり、売上利益目標に及びませんでした。

なお、第2四半期連結累計期間末の直営店舗数は、38店舗となりました。

この結果、売上高は900,998千円（前年同期比△1.6%）、営業利益1,426千円（前年同期比△70.2%）となりました。

イルムス事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、3月、4月にそれぞれ新規オープンいたしました二子玉川店、越谷アウトレット店を含む直営8店舗がフル営業体制になり、新規顧客の獲得も進みました。しかしながら3月の震災による一時的な売上低下などの影響から、売上高は508,811千円（前年同期比△23.7%）となりました。売上高の減少に対し、給与の一定額削減や一部の業務見直しによる経費削減努力等を行い、営業損失32,968千円（前年同期92,958千円の営業損失）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間末の直営店舗数は8店舗、フランチャイズ店舗は8店舗となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,410,055千円（前年同期比△11.0%）、営業損失69,452千円（前年同期135,481千円の営業損失）、経常損失70,956千円（前年同期147,134千円の経常損失）、四半期純損失は、75,019千円（前年同期191,956千円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ133,854千円減少し、1,105,156千円となりました。これは、流動資産が84,111千円、固定資産が49,743千円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ41,249千円減少し、935,493千円となりました。これは主に、流動負債において買掛金が8,594千円減少、固定負債において長期借入金が30,146千円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ92,604千円減少し、169,663千円となりました。これは主に、株主資本において利益剰余金が75,019千円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ129,843千円減少し、163,553千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、3,589千円の支出（前年同四半期は140,778千円の支出）となりました。主な支出は、税金等調整前四半期純損失72,149千円、法人税等の支払額9,979千円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、83,032千円の支出（前年同四半期は13,257千円の収入）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出21,676千円、子会社株式追加取得による支出10,000千円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、43,220千円の支出（前年同四半期は86,151千円の支出）となりました。主な支出は、長期借入金の返済による支出24,188千円、ファイナンスリース債務の返済による支出13,751千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、当第2四半期連結累計期間において売上高1,410,055千円、営業損失69,452千円を計上しておりますが、ヒロタ、イルムス両事業において経営改善計画を推進した結果、前年同四半期連結累計期間と比較して営業損失が66,028千円改善しております。

当社グループは、更なる改善を図るために以下の施策について全力を挙げて取り組んでおります。

ヒロタ事業におきましては、主力商品オリジナルシュークリーム・シューアイスにおける「ディスカバージャパン」の取組みを含む、コラボレーションによる新商品の開発に積極的に挑戦し、「ブランド価値の向上」を目標に「直営店強化」を図っております。また、ホールセール部門におきましても、販売先の更なる拡大を進めてまいります。

イルムス事業におきましては、「選択と集中による直営店強化」「商品構成の見直し」を強化し、新規顧客の獲得及び既存顧客のリピート率の向上に努めております。また、今後はネット販売にも注力し、その他販売方法を模索しつつ売上拡大努力を進めてまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	293,396	213,553
売掛金	180,851	173,000
商品及び製品	140,025	136,032
仕掛品	1,431	1,567
原材料及び貯蔵品	23,097	28,038
その他	19,524	21,882
貸倒引当金	△1,900	△1,760
流動資産合計	656,427	572,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	208,490	202,658
土地	79,937	79,937
その他	118,479	104,553
有形固定資産合計	406,907	387,149
無形固定資産		
のれん	—	3,063
その他	37,718	21,960
無形固定資産合計	37,718	25,023
投資その他の資産		
投資有価証券	37,788	32,754
その他	105,419	92,413
貸倒引当金	△5,250	△4,500
投資その他の資産合計	137,957	120,668
固定資産合計	582,583	532,840
資産合計	1,239,011	1,105,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	165,299	156,704
短期借入金	51,600	47,921
1年内返済予定の長期借入金	45,902	51,860
未払法人税等	13,687	9,597
未払金	278,993	282,918
未払費用	77,005	78,703
資産除去債務	1,137	—
その他	57,091	62,181
流動負債合計	690,715	689,887
固定負債		
長期借入金	61,027	30,881
長期末払金	114,676	109,907
資産除去債務	19,834	26,855
その他	90,489	77,962
固定負債合計	286,027	245,605
負債合計	976,743	935,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	493,387	493,387
利益剰余金	△268,658	△343,677
自己株式	△102,420	△102,420
株主資本合計	222,308	147,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	757	△3,476
その他の包括利益累計額合計	757	△3,476
少数株主持分	39,201	25,849
純資産合計	262,267	169,663
負債純資産合計	1,239,011	1,105,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,583,915	1,410,055
売上原価	826,620	687,636
売上総利益	757,295	722,419
販売費及び一般管理費	892,776	791,871
営業損失(△)	△135,481	△69,452
営業外収益		
受取利息	166	9
受取配当金	700	595
負ののれん償却額	781	781
貸倒引当金戻入額	—	890
その他	1,732	296
営業外収益合計	3,380	2,572
営業外費用		
支払利息	7,570	4,024
株式交付費	6,944	—
その他	518	51
営業外費用合計	15,033	4,075
経常損失(△)	△147,134	△70,956
特別利益		
投資有価証券売却益	9,985	—
固定資産売却益	—	257
その他	2,872	—
特別利益合計	12,857	257
特別損失		
災害による損失	—	769
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	67,821	—
店舗閉鎖損失	1,063	—
固定資産除却損	—	491
その他	3,956	189
特別損失合計	72,841	1,451
税金等調整前四半期純損失(△)	△207,118	△72,149
法人税、住民税及び事業税	6,631	6,644
法人税等調整額	1,960	2,639
法人税等合計	8,591	9,283
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△215,710	△81,433
少数株主損失(△)	△23,753	△6,414
四半期純損失(△)	△191,956	△75,019

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△215,710	△81,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△144	△4,233
その他の包括利益合計	△144	△4,233
四半期包括利益	△215,854	△85,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192,100	△79,253
少数株主に係る四半期包括利益	△23,753	△6,414

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△207,118	△72,149
減価償却費	57,029	51,362
差入保証金償却額	4,520	7,249
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	67,821	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△710	△890
受取利息及び受取配当金	△866	△604
支払利息	7,570	4,024
固定資産売却損益(△は益)	—	△257
固定資産除却損	—	491
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,985	189
店舗閉鎖損失	1,063	—
災害損失	—	769
負ののれん償却額	△781	△781
売上債権の増減額(△は増加)	51,719	7,850
たな卸資産の増減額(△は増加)	72,238	△1,853
仕入債務の増減額(△は減少)	△128,406	△8,594
未払金の増減額(△は減少)	△32,454	18,692
未払費用の増減額(△は減少)	△796	1,698
長期未払金の増減額(△は減少)	371	△4,769
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,198	5,931
その他	△11,055	1,433
小計	△121,642	9,793
利息及び配当金の受取額	866	604
利息の支払額	△7,538	△4,007
法人税等の支払額	△12,464	△9,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	△140,778	△3,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△21,381	△21,676
有形固定資産の売却による収入	12,743	285
無形固定資産の取得による支出	△217	—
投資有価証券の売却による収入	13,475	560
投資有価証券の取得による支出	—	△500
子会社株式の取得による支出	—	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△16,288	△2,079
敷金及び保証金の回収による収入	24,935	377
その他	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,257	△83,032

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△3,679
長期借入金の返済による支出	△20,340	△24,188
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△27,810	△13,751
割賦債務の返済による支出	△12,910	△1,602
自己株式の取得による支出	△18,146	—
その他	△6,944	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,151	△43,220
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△213,672	△129,843
現金及び現金同等物の期首残高	602,866	293,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	389,193	163,553

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	ヒロタ 事業	イルムス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	916,028	667,061	1,583,089	826	1,583,915	—	1,583,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	916,028	667,061	1,583,089	826	1,583,915	—	1,583,915
セグメント利益又は損失 (△)	4,779	△92,958	△88,178	826	△87,352	△48,129	△135,481

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△48,129千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	ヒロタ 事業	イルムス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	900,998	508,811	1,409,810	245	1,410,055	—	1,410,055
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	900,998	508,811	1,409,810	245	1,410,055	—	1,410,055
セグメント利益又は損失 (△)	1,426	△32,968	△31,542	245	△31,297	△38,155	△69,452

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△38,155千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変更)

「イルムス事業」において、当社の子会社である株式会社イルムスジャパンの株式を平成23年8月10日付けで追加取得しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第2四半期連結会計期間において3,063千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。